

2011年度11月－3月期事業報告

1. 公益目的事業

(1) 国際相互理解のための体験活動及び普及啓発事業

友愛学舎・ゲストハウス・レジデントアシスタントを中心に各学生サークルの連携をはかり、留学生への情報発信を積極的におこなうことにより国際相互理解の促進を目的とした事業として以下のプログラムを行った。双方の学生が刺激しあい成長していかれるような環境づくりを心掛けた。

■Feel Japan 年中行事を楽しむ会

日本の文化紹介プログラムを実施。留学生と日本の学生が知り合う一助になることも目的とするが、寮生活をしながら日本の伝統行事を知る機会を提供。2月後半にお雛様と一緒に飾りながら説明を行い、7名が参加。

■国際理解講座 Global Understanding

毎週1回「平和」をテーマに様々な角度から国際理解を深めるための知識をディスカッション形式で実施。コーディネーターとして早大YMCAの石戸充氏が指導。留学生をスピーカーとして招き、出身国のことをレポートしてもらうなど学生主体の参加型講座。平均参加人数5から6名。

■韓国ハンバット大学校日本研修

韓国ハンバット大学校日本語科の学生が地域専門家養成プログラムとして訪日、日本人学生との交流や研修プログラムの企画運営をおこなった。

実施期間：2012年1月17日から30日

参加人数：韓国ハンバット大学学生12名・日本人学生のべ10名

プログラム：

1/17	火	韓国・インチョン→日本・成田=送迎マイクロバスにて奉仕園
1/18	水	①講義「東京都における外国人への行政支援について」 東京ボランティアネットワーク代表・奉仕園日本語ボランティアの会代表 梶村勝利氏” ①見学「東京都庁」 歓迎懇親夕食会（奉仕園）
1/19	木	②講義「日本の企業の魅力」日本データビジョン コン・ボムジン氏 ②見学「日本の企業を知る」鹿島建設
1/20	金	③見学「日本の企業文化：ライフワークバランスへの取り組み」住友商事 ③講義「アジアの中の日本経済」早稲田大学国際教養学部教授 朴相俊氏
1/21	土	④早稲田奉仕園紹介・早稲田大学キャンパスツアー、WAM 自由時間
1/22	日	自由時間
1/23	月	④講義「現代の日本社会」日経BP社 今田 純氏 ⑤見学「お客さまセンターがお客さまの声をいかに吸い上げて企業活動に反映させているか」 資生堂お客さまセンター
1/24	火	⑤講義「日本社会を多文化共生の視点から考える」中央大学講師 宣元錫氏 新大久保にて自由行動
1/25	水	⑥講義「日本人の宗教観」東京医療保健大学教授 菅原伸郎氏 ⑥見学「銀行・ディーラー室および丸の内見学」三菱東京UFJ銀行
1/26	木	⑦見学「江戸博物館」 ⑧見学「国会議事堂（参議院）」
1/27	金	⑨見学「日本の社会・高齢化対策」社会福祉法人武蔵野 阿部敏哉氏 「東日本大地震ボランティア報告」早稲田学生寮チーム
1/28	土	⑦講義「日本で韓流はなぜはやるか」慶応・大妻女子・戸板女子大学講師 李泰文氏 ⑩見学「芸術鑑賞（淡路人形芝居）」 発表会・送別夕食会
1/29	日	自由時間
1/30	月	日本・成田→韓国・インチョン

（２）国際相互理解を基調としたボランティア活動推進事業

■日本語ボランティアの会

日本に暮らす外国人に日本語を教え、生活上のサポートをおこなうとともに地域との交流をはかる日本語ボランティアの会は13年目を迎えた。毎年『日本語ボランティア養成講座』の修了生がボランティアの会の活動に多く加わっている。4月から5月にかけては大

震災の影響により帰国された外国人も多く、学習者の減少が目立ったが、夏以降は例年並みに回復した。昨年9月からは会場をスコットホール2階に移転して活動を続けた。特別活動として課外授業、新年会、学習者発表会、講師研修会など随時行った。

2011年度登録ボランティア数：67名

参加のべ人数：ボランティア2,483名、学習者3,451名

■あすなろ会

知的障がいをもつ子どもたちと遊ぶボランティア活動をおこなう。毎週土曜日に活動とミーティングを行い、学生が選ぶ委員会を中心として企画・運営。

参加人数：ボランティア学生7名、子ども5名

■東日本大震災被災者支援・復興支援活動：早稲田学生寮チーム－シクラメンプロジェクト

早稲田学寮チーム及び恵泉女学園大の大学生たちが、岩手県大槌町を訪問、浪板地区住民宅及び仮設住宅にシクラメン300鉢を届け、集会所で早大留学生カイリンさんのミニコンサートを開催。また、子どもたちとハーブ石鹸作りやスポーツの交流をおこなう。現地訪問に先立ち、10月21日にスコットホールにて「早稲田大学留学生シンガー・カイリン チャリティーコンサート」を実施し、その入場料を本プロジェクトに充当した。

訪問先：岩手県上閉伊郡大槌町浪板地区

日程：11月25日～11月27日

参加者：早稲田学生寮チーム・恵泉女学園大学・スタッフ計33名

協力：恵泉女学園大学、浪板交流促進センター、香港特別行政区政府駐東京経済貿易代表部

■東日本大震災被災者支援・復興支援活動：チャリティー古本市

セミナーハウスの社会貢献事業の一環として、第3回チャリティー古本市を10月15日から11月30日に開催、売上金42,140円を神楽坂建築塾の「縁台プロジェクト」に寄付した。

■東日本大震災被災者支援・復興支援活動：キャンドルナイト in 東京

3月11日の震災1周年を記念してキャンドル作りのワークショップをおこない、早稲田アゴラ主催のチャリティーコンサートとのコラボレーションにより、奉仕園の中庭にてキ

ヤンドルを灯しつつ被災地に思いをはせるひと時を過ごした。

企画：新宿区社会福祉協議会、パルシステム

協力：早稲田奉仕園、早稲田アゴラ

- 早稲田学生寮チームが実施した支援活動への助成を赤い羽根共同募金に2回わたり申請し、合計194万円の助成を受けた。

(3) 国際相互理解のための語学講座及びその他講座事業

■アジア語学講座

アジア諸地域の言語を学ぶことを通じ、文化や習慣、社会への理解を深めることを目的に開設。

①通常クラス

後期：受講者数合計 126名

開講クラス

朝鮮語	入門		中級 中級会話	上級会話
タイ語	入門	初級	中級	上級会話
ベトナム語		初級1 初級2	中級	
ベンガル語	入門	初級1 初級2 初級3	中級	上級
クメール語			中級	
ヒンディー語	入門	初級1 初級2		上級
モンゴル語		初級2	中級1 中級2	

講師：朝鮮語 朴主言、イ・ギユテ、呉世蓮、ソ・ユンヒ、池鐘益

タイ語 チャンヤー・マーンサクン、ワンナセッター・ワリッター

ベトナム語 ホアン・トー、グエン・フォン・チャン

ベンガル語 アザド・ムンシ、モハメド・カムルズ・ザマン

クメール語 ソパー・ヘイン

モンゴル語 ガンツェツェグ・ツォグバダラフ、バヤルサイハン・ハシチョローン

ヒンディー語 雪下洋一、白井桂、バス・アンビカ

②春の集中入門講座「2日間集中入門講座」

3月の週末を利用した初心者向けの集中講座を開講（3時間×2日間）、受講者数合計36名。

(1) 開講日：2012年3月10（土）、11（日）

ヒンディー語、ラオス語、ベンガル語

(2) 開講日：2012年3月17（土）、18（日）

韓国語、クメール語、タイ語、ベトナム語

講師：ヒンディー語：雪下洋一、ラオス語：パトゥ・イヤロー、

ベンガル語：アザド・ムンシ、韓国語：イム・タヘ、

クメール語：ソパー・ヘイン、タイ語：チャンヤー・マーンサクン

ベトナム語：グエン・フォン・チャン

③気軽にチャレンジ！はじめての韓国語通訳2日間レッスン

プロ通訳者による通訳メソッドを用いた上級者対象の集中講座を開講（5時間×2日間）。

開講日：2012年3月10（土）、11（日）

講師：矢野百合子

④講座交流会

後期は2月4日（土）に開催を予定していたが、参加者が少ないことが見込まれたため中止とした。

⑤アジア語学特別講座

アジアの文化、社会に関するテーマを取り上げアジア地域への理解を深めるきっかけとすることを目的としたオープンセミナー。

11月23日 シンポジウム『『満洲』の記憶・移動する朝鮮族』60名（企画協力）

11月25～29日 佐々木芙美子 創作人形展 ～大地に生きる人々～

11月26日 作者佐々木芙美子氏との茶話会25名

■英語講座

ネイティブ講師と英語でコミュニケーションをとることを中心に、楽しみながら英語を身につける「ムリなく学べる基礎英語」、時事的トピックスを英語で話し合い理解を深めると共に英語のブラッシュアップをする「What 's Happening in the World?」クラスを開講。

後期 受講人数：31名

開講クラス：ムリなく学べる基礎英語（火）、ムリなく学べる基礎英語（金）

Lecture&Discussion（土）

講師：ジェンズ・ウィルキンソン、ポール・ダンフィー、クリスティ・ハンソン

その他活動：後期最後のクラスではティーブレイクの時間を設け、クラス内の交流を図った。

■日本語ボランティア養成講座

地域に住む外国人などにボランティアで日本語を教えるための学習法を学ぶ。受講対象はおもに中高年の、比較的時間に余裕があり社会貢献をしたいと思っている方々を想定している。奉仕園の『日本語ボランティア養成講座』は1年間通して学べる講座として、4月に初級Ⅰ（全16回）、10月に初級Ⅱ（全10回、昨年度は全9回）、2012年1月から中上級（全6回・1回2.5時間、昨年度は1回2時間）を開講した。講師には引き続き日本語ボランティア歴20年以上で現在武蔵大学講師を勤める数土容子氏にご担当いただいた。各講座修了生には修了証書を発行、修了生の多くが日本語ボランティアの活動を始めている。

講師：数土容子（武蔵大学講師）

クラス	開講日
初級Ⅰ	4月13日～9月7日 全16回
初級Ⅱ	10月12日～12月21日 全10回
中上級	2月1日～3月7日 全6回

■「スコットホールでゴスペルを歌おう」講座

昨年11月からゴスペル講座を開講した。奉仕園に集い、仲間ができ、歌うことで元気になり、発表会という目標に向かって講師オリジナルアレンジの曲を習得していった。スコットホールで気持ち良く、思いっきり練習、発表ができるのが喜ばれている。

開講日：①11月10日から12月15日（全6回）

②2012年1月19日から3月15日（全7回）

いずれも木曜日14：00～15：30

クリスマス発表会：12月22日（土）、ゲストMYUMA

講師：藤田聖子（プロシンガー）

■鈴木喜一の水彩画特別レッスン

教養講座の新たなプログラムとして2011年11月より全6回で開講。静物画や野外スケッチ、作品講評を中心に、初心者向けに実技を丁寧に指導する。講座終了後は作品展を早稲田スコットホールギャラリーで開催。

講師：鈴木喜一（武蔵野美術大学講師）

■聖書講座「新しい聖書の学び」

キリスト教の聖典であり、古典でもある聖書を固定化された見方や伝統的な解釈を離れて、読み解く。6月より全10回で開講。

講師：山口里子（日本フェミニスト神学・宣教センター 共同ディレクター）

共催：日本クリスチャンアカデミー関東活動センター

（4）学寮運営事業（友愛学舎・ゲストハウス）

■友愛学舎

学部大学生を対象とし、イエス・キリストの奉仕の精神に基づき学びと交わりを通して人間形成の場を提供することにより教育寮としての寮運営を行う。

舎生数：2011年度は4年生4名（男子3名・女子1名）、3年生3名（女子3名）、2年生3名（男子2名・女子1名）、1年生4名（男子2名・女子2名）の14名が

在寮。

活動：朝の会 学期期間中の月曜日～金曜日 7時～7時30分、聖書講読（コリントの信徒への手紙2）及び学生発表。

舎生会 毎月1回開催。（友愛活動・生活について）

年間行事 友愛旅行（1月 福島）、卒舎式（3月27日）および朝の会まとめ発表、信愛学舎・山手学舎と協力し東日本被災者支援活動を継続。

■ゲストハウス

大学学部生・大学院生・研究者のための寮。2011年度は7名が在寮。

（5）早稲田大学との協力による学寮運営事業（国際友愛学舎）

■国際学舎

早稲田大学の外国人留学生・研究員寮152室。

生活の場としてだけでなく、研修旅行や寮内での企画を通じて日本文化の紹介や国際相互理解を行う。レジデントアシスタント（RA）がRAルームに平日の19時～21時まで常駐し日常生活および国際相互理解のためのサポートを実施。

■留学生健康相談室の運営

居住学生・留学生を対象とし、健全なる寮生活を送るため健康上の相談や病院の紹介などのサポート事業として運営。必要に応じて個別面談を実施。健康状態の把握に努めると共にインフルエンザの流行対策を始め大学とも連携を取り、緊急時を含めて対応できるような体制をとっている。今期の利用者は、のべ29名で、風邪の症状での来室が多かった。

カウンセラー：吉田豊医師、紀野久美子保健師

開室時間：毎週月曜日13：00～15：30

毎週水曜日及び木曜日13：30～17：30

相談内容：病院の紹介、栄養指導、ケガの応急処置、風邪の初期対応、感染症（インフルエンザ等）についての情報提供、アンケートでの健康状態の把握など。

■奉仕園クリスマス会

奉仕園学生寮の寮生を中心に講座受講生、講師も参加し、年一回クリスマスを通じて交流を深めることを目的としている。12月10日に開催し、参加者は103名。交流パーティーでは留学生お手製の各国の郷土料理が並び、クリスマス礼拝の後、居合道、インディアンダンス、ブレイクダンスの披露やカラオケ大会のほか毎年恒例の友愛劇が上演された。

■第6回早稲田大学留学生・冬の富士山を楽しむ研修旅行

早稲田大学留学生が静岡県御殿場市を訪問。富士山周辺散策を通じ日本の自然に触れ、環境への理解を深めることを目的とする。友愛学舎・信愛学舎の日本人学生を中心として留学生との合同で実施するプログラムとし、お互いの交流を深める場ともなっている。

参加人数：早稲田大学在籍の外国人留学生・研究者19名

実施期間：2月6日～8日（2泊3日）

協力：早稲田大学ICC、YMCA東山荘

内容：富士山麓の散策、富士山周辺の自然学習、箱根観光等

■ホームビジット

ホームビジットプログラムは、早稲田奉仕園寮に居住している留学生に東京近郊の一般的な日本人家庭を訪問し、その生活を知ってもらうことにより学業のみならず「普段着」の日本を知ってもらう機会としている。又、ホストファミリーの方々には留学生との交流を通して異文化・異世代体験をしていただいている。留学生を受け入れていただいているホストファミリーは、奉仕園OBOG、早稲田教会、東京平和教会、奉仕園日本語ボランティアの会、稲門会等の方々にご協力をお願いしている。登録制で現在24組が登録している。

実施期間：2011年10月11日（火）～12月11日（日）

参加人数：16名

2. 収益事業

(1) 駐車場及び貸事務所等の賃貸並びに管理受託事業

■賃貸事業

月極め駐車場及び事務所の賃貸、宣教師館・牧師館、教会への施設貸出し。

■施設管理の受託

早稲田大学染谷国際会館の施設管理及び入居者の各種対応をおこなう。

(2) 会議施設及びホール施設の貸与事業（セミナーハウス）

■施設の貸与（会議室・ホール）

会議室全般の状況としては震災後の世相を反映してか、企業での利用が減り、NGOなどの社会活動での利用が増えた。但し、全体的には利用は減少している。日本キリスト教会館6階北側会議室は2011年7月に日本クリスチャンアカデミーに返還したが、時間使用ができるよう契約を結んだ。

ギャラリーでは以下の企画展及び関連イベントを開催した。

10月27日～11月8日 「日本列島水辺の集落35年写真展 畑亮・畑耕・畑拓展」

(ギャラリー企画展) 来場者200名

11月25日～11月29日 「佐々木芙美子創作人形展～大地に生きる人々～」(アジア

語学特別講座) 来場者200名

■プログラム（協賛を含む）の開催

- ・東京都教育委員会主催「東京文化財ウィーク」に参加し、11月2日に歴史的建造物スコットホール公開事業を開催した。あわせて記念礼拝とピアノコンサート（演奏者小島加奈子）を開催した。スコットホールガイドツアーには30名、コンサートには50名が参加した。

・第3回チャリティー古本市 10月15日～11月30日に開催、売上金42,140円は神楽坂建築塾の「縁台プロジェクト」に寄付した。

・セミナーハウスを利用する団体のうち趣旨に賛同する活動に対し、チケットの購入や使用料の一部を援助する協賛活動を以下の通り行った。

2月19日 外国人のための無料健康相談会（シェア＝国際保健協力市民の会主催）

3月3日 リビー・チャリティー・コンサート（東京YMCA “liby” 主催）

3月28日 『ここに心が』 in Tokyo @早稲田奉仕園（連連影展F A V）

3. 法人事務

■財団広報

『奉仕園通信』は63号（12月22日）、64号（3月31日）を発行した。

財団ホームページは定期的に更新をし、トップページに最新ニュースを掲載するなどの変化を与えている。また、今年度に新規開設した早稲田スコットホールギャラリーのページ（10ページ）の充実を図った。2010年10月にスタートした「早稲田奉仕園スタッフのブログ」は2011年度を通じて41記事を掲載した。

■財団会議等

理事会 第1回臨時（2012年1月20日）、第1回定例（3月9日）

みなし決議による理事会（2011年12月28日付けにて決議）

評議員会 第1回臨時（2012年1月20日）

常任理事会 第1回（12月13日）、第2回（2012年2月28日）

監事監査 12月9日

■登記及び行政庁への届出等

登記：2011年11月1日付にて、財団法人早稲田奉仕園の解散及び公益財団法人早稲田奉仕園の設立登記をおこなった。

定期届出：2011年度4月－10月期事業報告及び収支計算書等 3月16日（東京都）

2012年度事業計画及び収支予算等 3月27日（内閣府）

その他届出：移行登記完了届 11月11日（東京都）

移行登記完了届 11月15日（内閣府）

■人事

評議員：退任 小川忠（3月31日付）

■キリスト教施設長会

キリスト教施設長会議を2012年2月1日から3日まで関西セミナーハウス及び六甲YMCAにて開催、東山荘、天城山荘ほか10団体が出席した。